

主催 NPO法人ハンセン病療養所
世界遺産登録推進協議会

ユネスコ世界文化遺産登録に向けた学術調査事業

日本の宝から

世界遺産の富士山へ

—登録までと登録後の民間団体の活動—

2020
2・15
[SAT]
13:30
〜
15:00

講師 ■ 大庭 大 氏
おおば ひろし

認定NPO法人富士山世界遺産国民会議事務局長
昭和36年生まれ - 早稲田大学政治経済学部卒業
広告会社の制作部門・営業部門勤務を経て
平成30年1月富士山世界遺産国民会議へ
同年4月より現職

趣味は登山・パラグライダー・トレイルランニング
5歳の夏に初めて富士山に登って以来
現在までの富士山登頂回数は70回

定員 ■ 50名 = 無料・先着順・要申込

= 要約筆記・ヒアリンググループあり
無料・事前申し込み不要

会場 ■ 瀬戸内市中央公民館多目的ホール

〒7701・4221 瀬戸内市邑久町尾張465番地1

TEL0869-22-3761

JR 邑久駅から徒歩10分

後援 ■ 瀬戸内市・瀬戸内市教育委員会



山梨県河口湖畔からの富士山（2019年11月30日）



未来につなげたい、大切な記憶

2月15日(土) ユネスコ世界文化遺産登録に向けた学術調査事業 講演会

講演会内容

世界文化遺産として登録される資産の顕著な普遍的価値は、適切な保存管理体制の構築により担保され、そのためには様々な利害関係者（ステークホルダー）との調整と合意が必要です。また、登録のためにはハンセン病療養所、とりわけ長島の顕著な普遍的価値の言明等に向けた学術調査を行うとともに、広く世論を喚起し多くの人々が世界遺産としての価値とその保存継承への意思を示すことも重要です。

そこで、2013年6月に世界文化遺産として登録された「富士山-信仰の対象と芸術の源泉」に民間団体（NPO）として関与されている関係者をお招きし、登録までと登録後の現在に至るまで民間団体としてどのような取り組みを展開されているか、また、山梨・静岡両県で構成される「富士山世界文化遺産協議会」との役割分担についてもご紹介いただきます。

参加申込書

申込締切 2月13日(木)午後5時

*先着50人で申し込みを締め切ります。お早めにお申し込みください。

申込方法 ①郵送 〒701-4501岡山県瀬戸内市邑久町虫明6253番地 NPO法人事務局宛

②FAX 0869-24-8873（付け紙不要）

③メール hansen-wh.jp@aioros.ocn.ne.jp

④告知サイトPeatix オンライン申し込みはこちら→



氏名(名称)	(ほか 名)
当日連絡先(携帯電話番号)	
講演会を何で知りましたか？ (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 公民館等のチラシ <input type="checkbox"/> マスコミ報道 <input type="checkbox"/> NPOのSNS <input type="checkbox"/> NPOからのチラシ <input type="checkbox"/> NPOのホームページ <input type="checkbox"/> その他

*お問合せ NPO法人事務局 TEL0869-24-8872

*インターネット上のイベント告知サイトPeatixにも申込フォームを用意しておりますのでご利用ください。
(お申込みの際にはPeatixへのログインが必要です。)

*収集した個人情報は、この講演会の運営を目的としてのみ利用いたします。

*お車でご来場の方は中央公民館駐車場をご利用ください。



認定NPO法人
富士山世界遺産国民会議

中曽根康弘元内閣総理大臣、成田豊電通名誉相談役、静岡県知事、山梨県知事をはじめ、各界を代表する方々が発起人となり、2005年4月に設立。

「いつまでも富士山を世界遺産に」のスローガンの下、世界文化遺産富士山を守り、富士山の文化的価値を国内外にPRする活動や、子供たちに富士山を思う心を育んでもらうための活動などを実施している。

